

Ｓ－ステージ
ボアアップキット（８０ｃｃ）取扱説明書

商品番号	：０１－０５－５０８４
適応車種	：Ａｐｅ
フレーム番号	：ＡＣ１６－１６０００01～ ：ＡＣ１８－１０００００１～

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！使用燃料についてのご注意！

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

！スプロケットについてのご注意！

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギアー化を行って下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛け、小型２輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付２種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
◎このキットを取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎このキットは、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。
◎取り付けの際には、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎このキット単体では性能を発揮出来ません。別売りのＦＩコントローラーをお買い求め下さい。
　ＦＩコントローラー：０３－０５－００１４
◎さらなるパワーアップには、弊社製マフラーをお勧めします。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎液体パッキン等は使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
◎この製品を取り付けるには、別途、Ｌ.クランクケースカバーガスケット（ホンダ品番　１１３９４－ＫＮ４－７５０）が必要です。別途お買い求め下さい。

⚠注意　下記事柄を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告　下記事柄を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

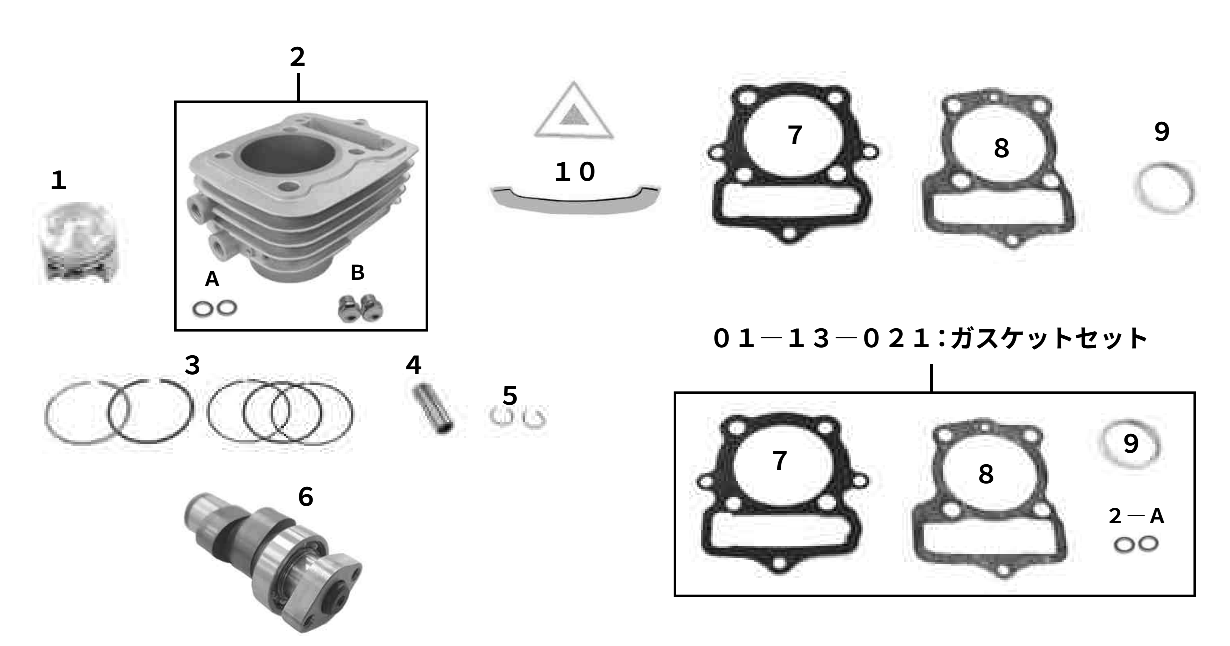
Jul./22/08

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から３～４回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

～商品内容～

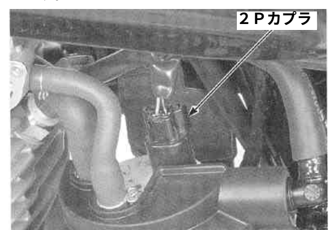


番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	ピストン　５３.５mm	１	１３１０４－１４９－Ｔ００	１
２	シリンダーＣＯＭＰ.	１	０１－０１－０４１	１
２－Ａ	アルミシーリングワッシャ　１０mm	２	０９－０７１－０１５	１０
２－Ｂ	オイルプラグボルト	２	０００－１３－０２０	１
３	ピストンリングセット　５３.５mm	１	１３０１１－ＧＢＧ－Ｔ００	１
４	ピストンピン　１３×３８.５	１	１３１１２－１６５－Ｔ０１	１
５	ピストンピンサークリップ	２	０００－０２－１２０	６
６	カムシャフト	１	０１－０８－０１２３	１
７	シリンダーヘッドガスケット	１	１２２５１－ＧＥＹ－Ｔ００	１
８	シリンダーガスケット	１	０００－１３－０６２	２
９	エキゾーストパイプガスケット	１	０００－１３－０５８	２
１０	原付２種マークセット	１	―――――――	

※リペアパーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様お願い致します。

～取り付け要領～

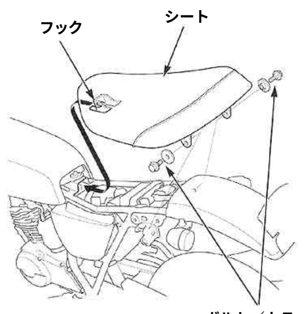
◇メインスイッチをＯＦＦにし、フューエルポンプユニット２Ｐ（黒）カプラの接続を外します。



◇メインスイッチをＯＮにしてキックスターターでエンジンを５回以上クランキングしてフューエルホース内の燃圧を抜きます。
◇メインスイッチをＯＦＦにします。

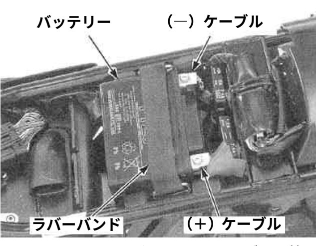
●エンジンの取り外し
シートとタンクの取り外し

◇２本のボルト及びカラーを取り外しシートを外します。

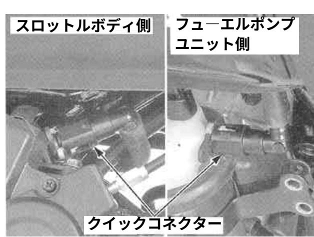


※クイックコネクタ―の取り外し方法

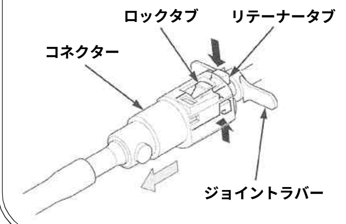
１．バッテリーよりケーブルを取り外します。



２．クイックコネクター周辺をエアブロー等で清掃しコネクター周辺をウエスで被います。

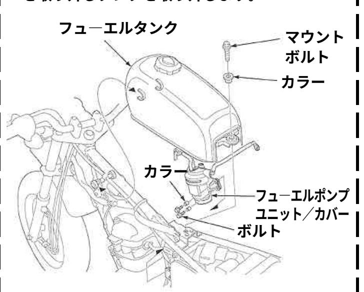


３．リテーナータブを押し込んでロックタブをコネクターから外し、コネクターを引き抜きます。



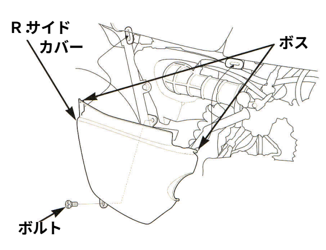
４．取り外したコネクターはゴミやほこりの浸入を防ぐため、ビニール等で被います。

◇上記を参考にしてスロットルボディ側のクイックコネクターを取り外します。
◇マウントボルト、カラー及びボルト、カラー２つを取り外しタンクを取り外します。

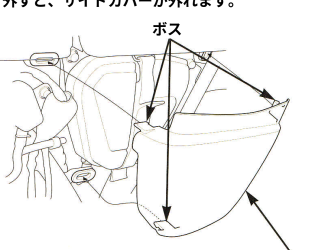


サイドカバーの取り外し

◇Ｒ．サイドカバーのボルトを取り外します。ボス２ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



◇Ｌ．サイドカバーのボス３ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



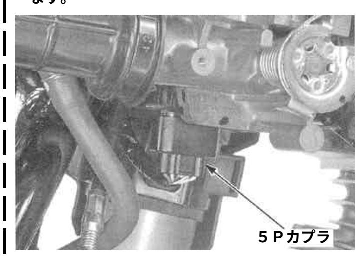
◇スクリューを外し、スロットルドラムカバーを取り外します。



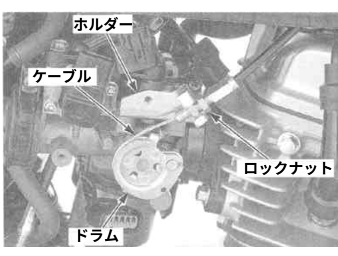
◇ＩＡＣバルブ４Ｐ（黒）カプラ、インジェクタ２Ｐ（黒）カプラの接続を外します。



◇センサーユニット５Ｐ（黒）カプラの接続を外します。



◇ロックナットを緩め、スロットルケーブルをケーブルホルダーとスロットルドラムから取り外します。



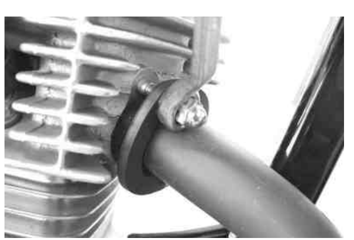
◇コネクティングチューブバンドスクリュー、及びインシュレーターバンドスクリューを緩め、スロットルボディを取り外します。



※スロットルボディからスロットルケーブルを取り外した後、スロットルバルブを全開から全閉にスナップしないで下さい。
※作動不良の原因となる為スロットルボディを落とす等、強い衝撃を与えないで下さい。

エキゾーストマフラーの取り外し

◇シリンダーヘッド側のナット２個を取り外します。

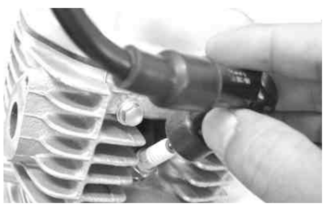


◇マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張り、取り外します。必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。

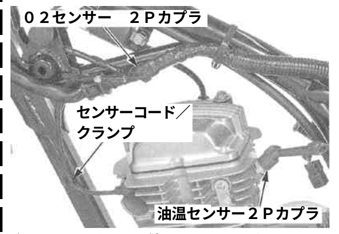


◇スパークプラグを取り外します。

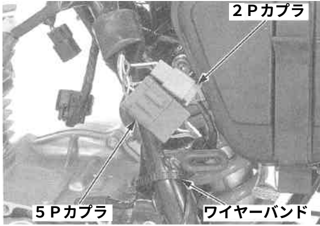


接続を外す
センサーカプラの取り外し

◇油温センサー２Ｐ（茶）カプラ、０２センサー２Ｐ（黒）カプラの接続を外し、クランプから０２センサーコードを取り外します。



◇ワイヤーバンドを外し、サイドスタンドスイッチ２Ｐ（緑）カプラとＡＣジェネレータ５Ｐ（茶）カプラの接続を外します。



◇ブリーザーホースの接続を外します。



◇クラッチケーブルガイドのナットを緩め、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。





◇ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。

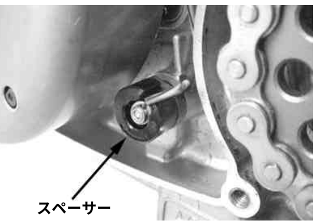


ドライブスプロケットの取り外し

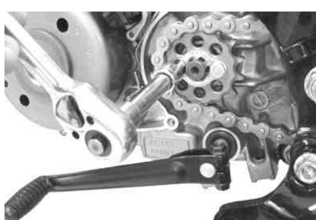
◇L.クランクケースカバーのボルト５本を外し、L.クランクケースカバーを取り外します。



◇ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
◇スペーサーを取り外しておきます。



◇ドライブスプロケットの２本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。





L.ステップの取り外し

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



◇ボルト２本を取り外し、L.ステップを取り外します。



エンジンの取り外し

◇エンジン下部にジャキや適当な台等を置き、エンジンを支えます。



◇フロントエンジンハンガーのナット４個を取り外し、ボルト４本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



◇リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



◇下側のナットを取り外します。



◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラーとクラッチケーブルガイドを取り外します。





◇下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



●シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

シリンダーヘッドの取り外し

◇シリンダーヘッドカバーボルト２本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。

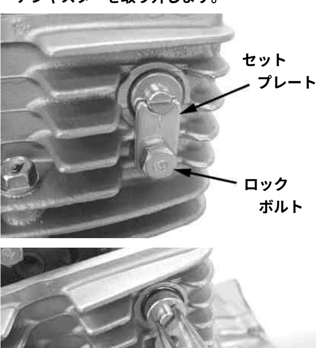




◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの６角ボルト２本を緩めておきます。

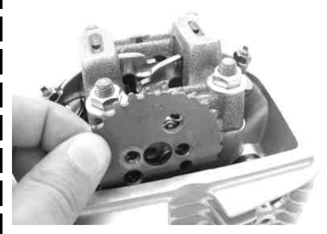


◇ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。

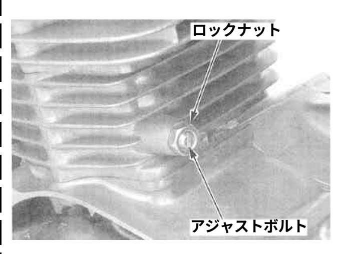




◇カムスプロケットの６角ボルト２本を取り外します。



◇カムスプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



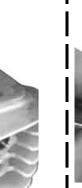
◇シリンダー後部にあるアジャストボルト、ロックナットを緩めます。

◇シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。

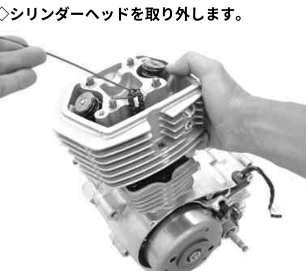


◇カムシャフトホルダーナット４個を対角に数回に分けて緩めてワッシャ４個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ブッシュ、ノックピンを取り外します。





◇カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。



◇シリンダーヘッドを取り外します。

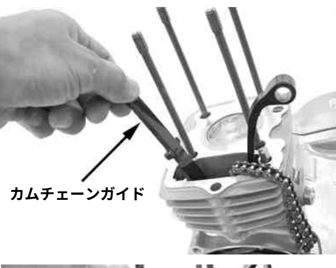
◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておきます。

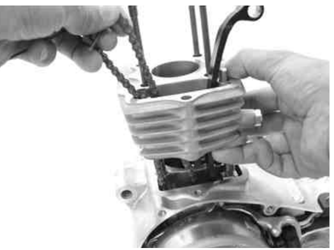


◇シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。

シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、シリンダを抜き取ります。（かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。）





◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておきます。



◇ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。



◇スプリングを外し、カムチェーンテンシナーをシリンダーから取り外します。





◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。

※ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。



◇サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押して外します。



◇ピストンが外れます。



取り付け面をきれいにする

◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。

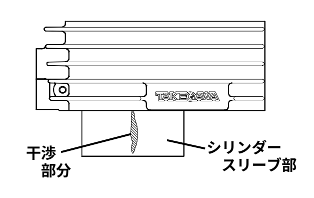


◇ウエスできれいに拭き取ります。



●クランクケースの修正

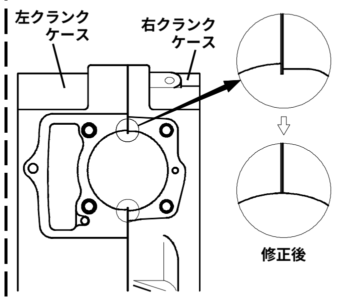
※シリンダーをクランクケースに取り付ける際、左右クランクケースのズレ等により、シリンダースリーブ部とクランクケーススリーブホール部が干渉する場合があります。干渉した状態で使用するとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。



◇クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めます。

◇左右クランクケースのズレの出っ張っている部分を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さにします。

◇削り終わったら削り粉がクランクケース内に入らないように慎重にウエスを取り除きます。



◇きれいなウエスをスリーブホールに詰めておきます。

◇キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

●S - ステージキットの取り付け

ピストンの取り付け

◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

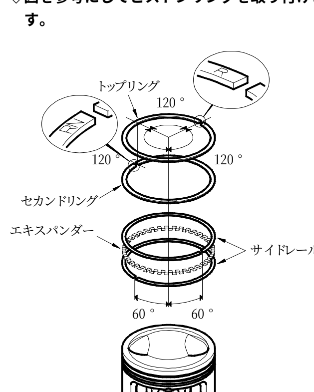
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



◇図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



◇オイルリングエキスパンダーを入れます。



◇下オイルリングサイドレールを入れます。



◇上オイルリングサイドレールを入れます。



◇"RN"の文字を上にして、セカンドリングを入れます。



◇"R"の文字を上にして、トップリングを入れます。



◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。

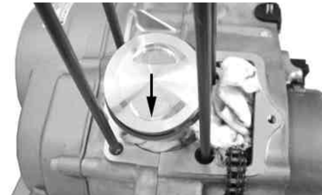


◇コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



◇ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンの上面の矢印が、前（排気側）を向くようにピストンを取り付けます。





◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



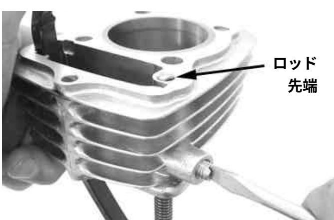
シリンダーの取り付け

◇カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。





◇カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。
アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。





◇詰めていたウエスを取り外します。



◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。





◇ノックピン２個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



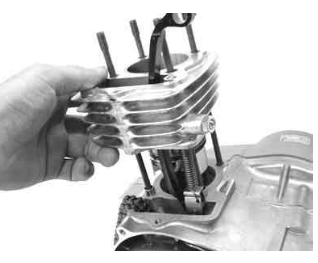
◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



◇ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



◇シリンダーを入れていきます。



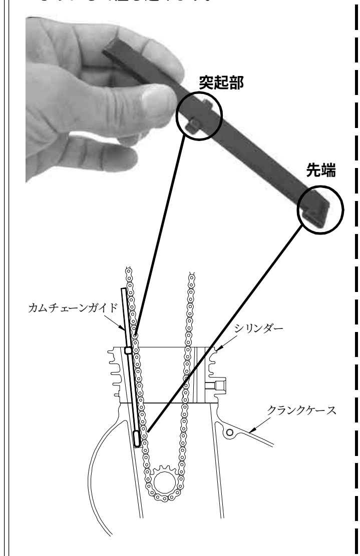
◇シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。



◇ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。



◇カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせるようにして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。





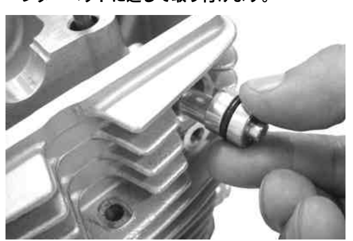
◇ノックピン２個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



◇アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを仮止めします。

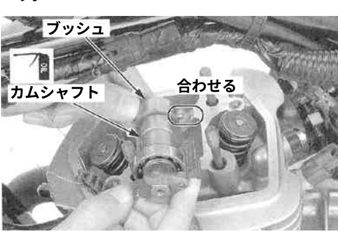


◇シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしておきます。



カムシャフトとカムスプロケットの取り付け

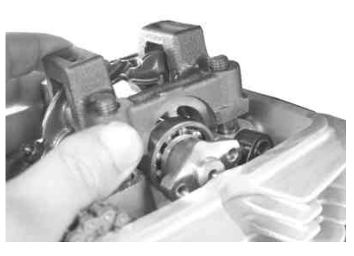
◇カムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に向けておきます。



◇ノックピン２個を取り付け、写真の様にカムチェーンの中にカムシャフトをくぐらせておきます。



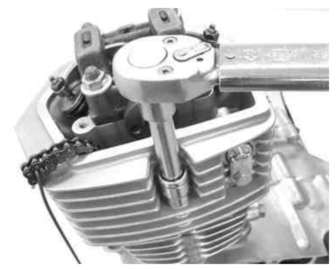
◇カムシャフトホルダーを取り付けます。



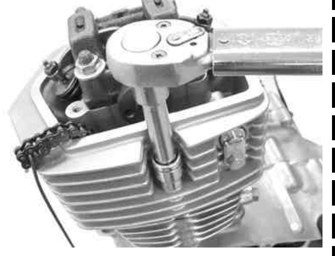
◇ワッシャ４個を取り付け、ナット４個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。
規定トルク　２０Ｎ・ｍ（２.０ｋｇｆ・ｍ）



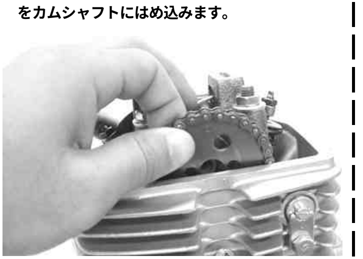
◇仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。
シリンダーヘッドマウントとカムシャフトの間にカムチェーンを噛み込まない様、注意して下さい。
規定トルク　１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



◇フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの“▽”マークに合っているか確認します。



◇カムスプロケットの“Ｏ”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。

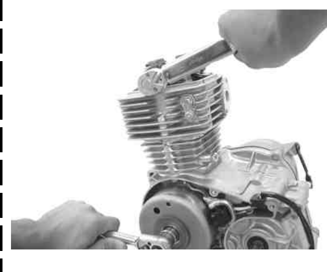


◇フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、６角ボルトを取り付けやすくします。

◇カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて６角ボルト２本を手で締め込み、仮り止めします。

○マーク

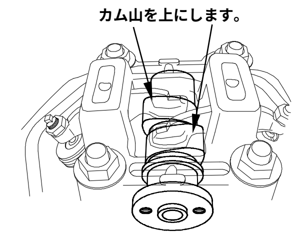
◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの６角ボルト２本を締め付けます。
規定トルク　９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）



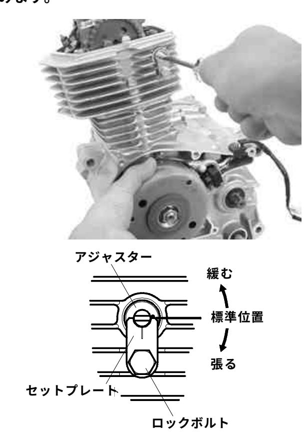
カムチェーンの調整

※カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。

◇フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。



◇フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“ｏ”マークを張る方向や緩む方向に回してみます。



◇ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。
規定トルク　１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。
◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを少しだけ緩めます。





◇マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。
規定トルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）
◇再びアジャスターを回して、ガタが無く、フライホイールが重くならないところを探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向に回して、カムスプロケットの“Ｏ”マークが真上を向き、フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの“▽”マークに合う位置で止めます。
◇アジャストスクリューとバルブ端面の間（バルブ隙間）に０.１mmのシックネスゲージを差し込みます。



◇引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。
規定トルク　１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇ナットを締め付け後、０.１mmのシックネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。
◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



◇シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト２本でシリンダーヘッドに取り付けます。
規定トルク　１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



●エンジンの取り付け

エンジンの取り付け

◇エンジン下部にジャキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。
◇リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。



◇カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。





◇ナット２個を仮止めします。





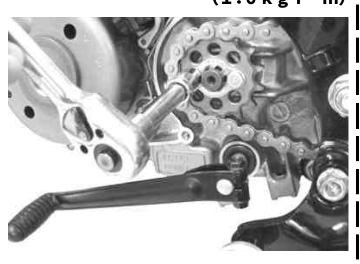
◇フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト４本を左側から差し込み、ナット４個を仮止めします。



◇ドライブチェーンを取り付けたドライブスプロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。

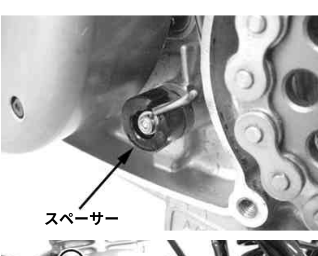


◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮り止めしたリアエンジンマウントのナット２個と、フロントエンジンハンガープレートのナット４個を本締めします。
規定トルク
リアエンジンマウントナット
：４４Ｎ・ｍ（４.５ｋｇｆ・ｍ）
フロントエンジンハンガープレート
ナット
：２６Ｎ・ｍ（２.７ｋｇｆ・ｍ）
◇フィキシングプレートをカウンターシャフトに差し、ドライブスプロケットのボルト穴に合わせて、ボルト２本を取り付けます。
規定トルク　１０Ｎ・ｍ
（１.０ｋｇｆ・ｍ）



Ｌ.クランクケースカバーの取り付け

◇Ｌ.クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。
◇スペーサーを取り付け、Ｌ.クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト５本でクランクケースに取り付けます。
規定トルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）





Ｌ.ステップの取り付け

◇Ｌステップをボルト２本でフレームに取り付けます。
規定トルク　２６Ｎ・ｍ
（２.７ｋｇｆ・ｍ）



◇サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。



接続

◇サイドスタンドスイッチ２Ｐ（緑）カプラ、ＡＣジェネレータ５Ｐ（茶）カプラを接続しワイヤーバンドでフレームに固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。



◇リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。



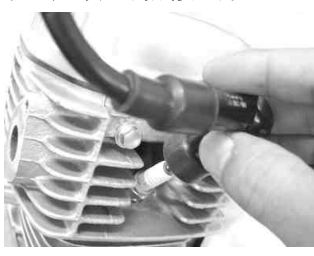


スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを、まず手で締め込みます。
◇プラグレンチを用いて締め付けます。
規定トルク　１４Ｎ・ｍ
（１.４ｋｇｆ・ｍ）



◇プラグキャップを取り付けます。



エキゾーストマフラーの取り付け

◇シリンダーヘッド側のナット２個を仮止めします。



※ノーマルマフラーはステップとエンジンの間から差し込んで下さい。

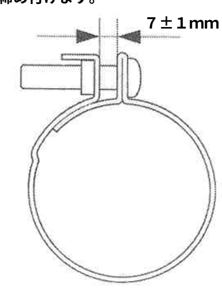
◇マウントボルトとワッシャを仮止めします。



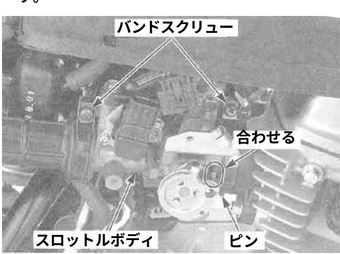
◇仮止めした３ヶ所を本締めします。
規定トルク
ナット２個：１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）
マウントボルト
：１３Ｎ・ｍ
（１.３ｋｇｆ・ｍ）
◇仮止めした３ヶ所を本締めします。
規定トルク
ナット２個：１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）
ロックナット
：３４Ｎ・ｍ
（３.５ｋｇｆ・ｍ）
◇キックペダルをシャフトに差し込み、ボルトで取り付けます。
規定トルク　１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

スロットルボディの取り付け

◇突起に溝を合わせてスロットルボディをインシュレータに取り付けます。インシュレーターバンド端間が７±１mmとなるようにバンドスクリューを締め付けます。

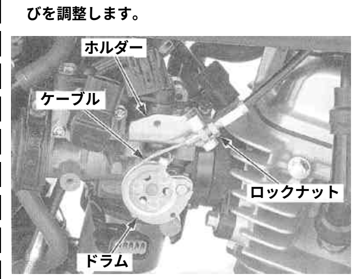


◇コネクティングチューブをスロットルボディに取り付け、バンドスクリューを確実に締め込みます。

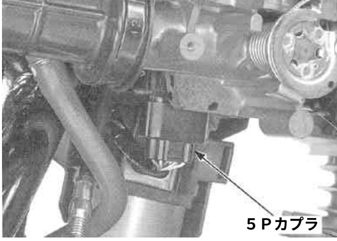


※バンドの穴がインシュレータの位置決めピンに合っているか確認して下さい。

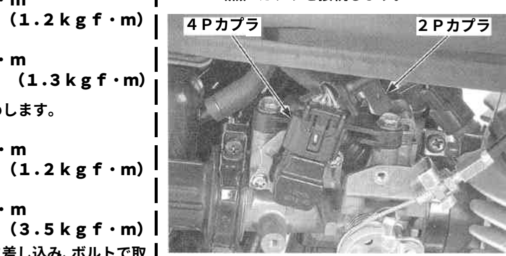
◇スロットルケーブルをスロットルドラムに接続し、ケーブルホルダーに取り付けます。
◇ロックナットを仮締めしスロットルグリップの遊びを調整します。



◇センサーユニット５Ｐ（黒）カプラを接続します。



◇ＩＡＣバルブ４Ｐ（黒）カプラ、インジェクタ２Ｐ（黒）カプラを接続します。



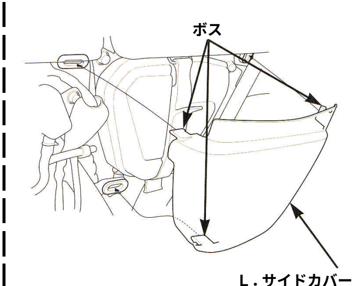
◇スロットルドラムカバーを取り付け、スクリューを規定トルクで締め付けます。
規定トルク　１.２Ｎ・ｍ（０.１ｋｇｆ・ｍ）



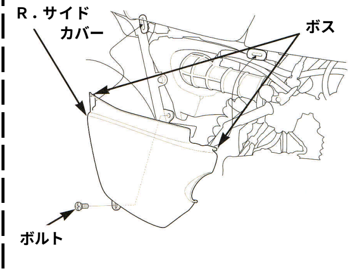
◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせて差し込み、トップキャップを取り付けます。

●サイドカバーの取り付け

◇Ｒ.サイドカバーのボス３ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。

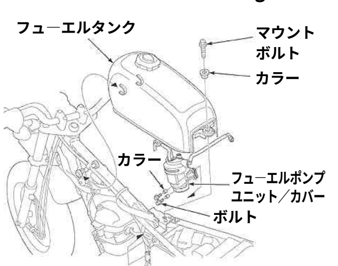


◇Ｒ.サイドカバーのボス２ヶ所をフレームに差し込み、ボルトを取り付けます。



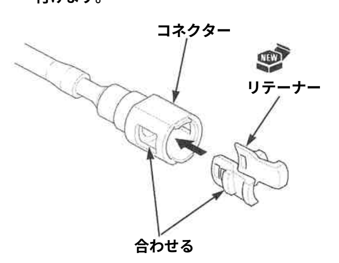
シートとタンクの取り付け

◇フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。
規定トルク　２６Ｎ・ｍ
（２.７ｋｇｆ・ｍ）
◇フューエルポンプユニットを取り付けます。
規定トルク　１２Ｎ・ｍ
（１.２ｋｇｆ・ｍ）

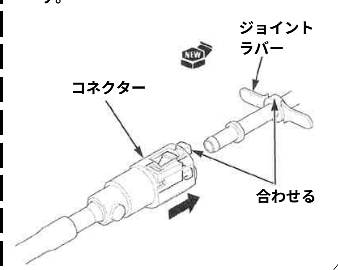


◇シート裏面前部のフックをフレームに差し込み、２本のボルト、カラーでフレームに取り付けます。
規定トルク　２６Ｎ・ｍ
（２.７ｋｇｆ・ｍ）

※クイックコネクターの接続方法
クイックコネクターの接続を外した場合はリテーナー、ジョイントラバーを新品に交換する事をお勧めします。
１．ロックタブ２箇所をコネクターの穴に正しく合わせ、リテーナーをコネクターに取り付けます。



２．ジョイントラバーをジョイント部に取り付けます。
３．クイックコネクターをまっすぐジョイント部に取り付け、図の様にリテーナーの溝をジョイントラバーに合わせる。“カチッ”と音がするまでコネクターを押し込みます。コネクターが取り付けにくい場合はジョイント部に少量のエンジンオイルを塗布します。

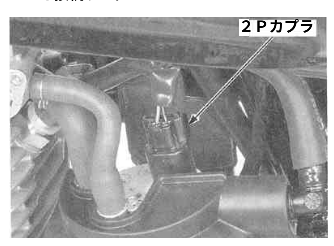


４．コネクターを前後に動かし、ロックタブによってコネクターが固定され、確実に接続している事を確認します。

ロックタブ

コネクター

５．フューエルポンプユニット２Ｐ（黒）カプラを接続する。



６．バッテリーケーブルを接続する。
７．メインスイッチを数秒間ＯＮで保持し燃料漏れが無いか確認します。(この時エンジンは始動しないこと)

◇上記を参考にしてスロットルボディ側のクイックコネクターを接続します。

◇別売のＦＩコントローラーを購入し、コントローラーの取扱説明書の指示に従いコントローラーを取り付けます。

☆エンジン始動☆

○エンジンに付着した汚れをよく拭き取ります。
○イグニッションキーをＯＮにし、エンジンを始動させます。
必ず換気のよい場所で行う事。
○異音など異常が無いかを確認します。
○異常が無ければ３０ｋｍから５０ｋｍ程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検します。
必ず冷間時に行う事。
○１００ｋｍから１５０ｋｍ位まで再度慣らし運転を行います。
○慣らし運転終了後、異音やブローバイガスなど異常が無いかを確認します。
(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)
再使用出来ないパーツは再使用しない事。

●走行前の注意

①お願い

◇このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。
一般公道を走行される場合は小型２輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付２種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
◇キット内の原付２種マークをお貼り下さい。

②使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

③スプロケットの変更

※このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギアー化を行って下さい。
◇Ａｐｅ　Ｓステージ仕様の参考２次減速比は２．５となっております。(体重６５ｋｇ時)
２次減速比は、“ドリブン（リアタイヤ側）スプロケットの歯数÷ドライブ（エンジン側）スプロケットの歯数”で算出します。
例えば、３５丁（ドリブンスプロケット）÷１４丁（ノーマルドライブスプロケット）＝２．５（２次減速比）となります。

●その他

①オイルクーラー

◇このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット（０９－０７－２１５５：4フィン5オイルライン、０９－０７－２１５６：3フィン4オイルライン）の装着をお勧めします。

②温度計

◇このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。
◇さらなるパワーアップに、ＦＩコントローラーの装着をお勧めします。
・ＦＩコントローラー
Ｓ－Ｓｔａｇｅ用ＦＩコントローラー：０３－０５－００１４

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp